

大腸ポリープ切除を受けられる方へ(同意書)

【ポリープとは】

大腸ポリープは大腸の一番内側にある粘膜層より発生する腫瘍のことです。大半は腺腫性ポリープで、放置すれば癌化リスクもあり、小さな内に切除することが重要です。大きさは5mm以下から数cmまでと幅広く、大きいものほど一部癌を含む可能性が高まります。大きいものは外科治療の対象となることもあり、一度組織検査を経てからの内視鏡切除となることがあります。

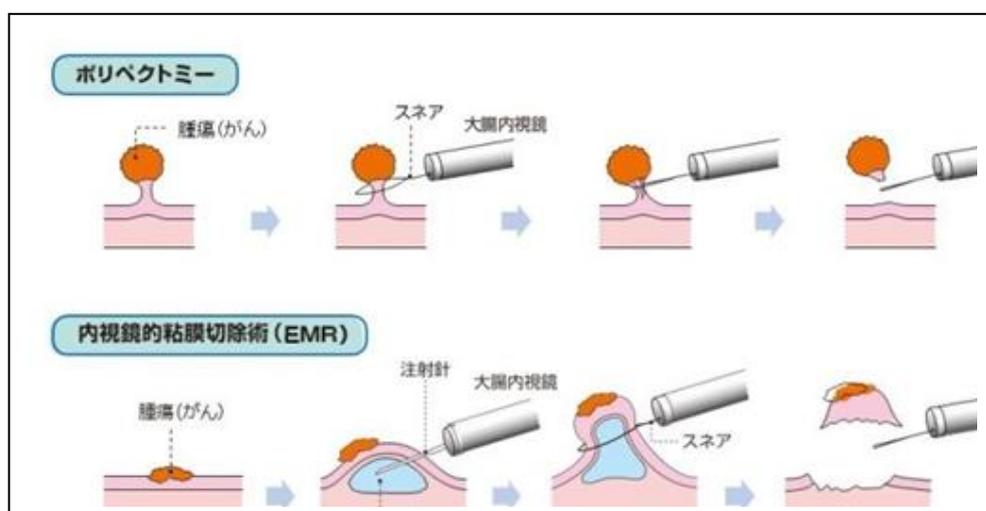
【大腸ポリープの切除方法について】

①(コールド)スネアポリーペクトミー

小さなものでは金属の輪をポリープにかけ、内視鏡的に切除することが一般的です。

②EMR (内視鏡的粘膜切除術)

内視鏡下でポリープの下に生理食塩水を注入し、ポリープを浮かせ、電氣的に焼き切ることでポリープを切除します。



【合併症等について】

比較的安全な日帰り手術ですが、合併症としては出血及び穿孔があります。出血はほとんどが安静にて止血されます。しかし穿孔の場合は強い腹痛がおこり、外科手術のため緊急入院となります。



かしはらクリニック

大腸ポリープ切除を受けられる方へ(同意書)

【費用について】

ポリープの大きさやとった個数(場所)等により、費用がかわります。手術費用以外に切除したポリープを組織検査にて評価するための費用もかかります。手術のため検査より高額となることをご承知ください。

【結果説明について】

切除したポリープの組織検査におよそ1週間から10日間かかります。よって、結果説明は後日となります。あらかじめ外来にて結果説明の予定を入れさせていただきます。

【同意書】

私は大腸内視鏡検査の目的と方法・危険性について医師の説明および上記の記載事項を理解いたしました。

大腸内視鏡検査を受けることに同意します。

令和 年 月 日 患者氏名 _____ 印

ご家族氏名 _____ 印

